

進路通信 スタートライン

狭山市立入間野中学校
3学年 進路通信
担当 ○○ ○○
第1号
2022. 4. 22 (金)

進路通信を発行します

新年度がスタートし、2週間が経ちました。新しい学級には慣れてきたでしょうか。いよいよ最高学年となり、卒業後のそれぞれの目標に向かって決意を新たにしていることでしょう。

さて、中学3年生は「進路選択」をする学年となります。進路に関する学習は、1・2年生でも取り組んできたと思いますが、1年後の自分の進路について、より深く考えていく時期となりました。「進路」と聞くと「高校選び」、「受験勉強」というイメージがありますが、未来の自分を想像し、前向きに努力していくことが大切です。自分の将来について、本気で考え、悩み、そして1年後の自分のために最大限の努力をしていってください。

この度、進路通信を発行することになりました。進路に関わる取り組みや進路の情報について、3年生の皆さんや保護者の方々にお伝えするものとなります。クラスで読み合わせをしてもらうこともあると思いますが、必ずご家庭でも目を通してください。不定期の発行となりますが、確認すべき事項や重要な提出物など様々な情報を随時お知らせしますので、保管していただきたいと思います。4月19日(火)に実施された保護者会で配布した資料でも、進路や学習のことを載せてありますので、合わせてご覧ください。

3年生の皆さんの進路選択をよりよいものとするためにも、この進路通信を充実したものとしていきたいと考えています。1年間、よろしくお願いいたします。

進路通信を担当させていただくことになりました、3学年副担任の○○です。3年生の皆さんのサポートをしながら、将来を見据えた進路選択が出来るように、支えていきたいと考えています。進路通信では、上記のような進路情報に加え、学習の仕方や受験に役立つ情報を発信していく予定です。

スタートライン

作詞：武田鉄矢 作曲：千葉和臣

(1番)

夜明け前の薄暗い道を 誰かがもう走っている
拾った小石で誰かが書いた アスファルト道の
スタートライン

寒い身体を言い訳にして 町は眠ってる曇り空の朝に
自分の汗で自分を暖めて 寂しさ目指して走る人がいる

今 私達に大切なものは
恋や夢を語り合う事じゃなく
一人ぼっちになる為の
スタートライン

(2番)

雨が降ってる町の公園で 誰かが一人濡れている
待たせてばかりの恋する人に 靴のかかとで描いたピリオド
素直な奴ほど傷ついてしまう
みんな上手にふざけて生きるのに
たったひとつの別れの為に 真っ直ぐ涙を流す人がいる

今 私達に大切なものは
恋や夢を語り合う事じゃなく
一人ぼっちになるための
スタートライン

(3番)

夜の川原の長い一本道を 誰かがまだ走っている
星を見上げて走り続ける 誰かが書いた
スタートライン

向こうの岸辺はあんなに明るく 町の灯が夜を焦がすのに
微かな星の光を探して 闇を選んで走る人がいる

今 私達に必要なものは
光り溢れる明るい場所じゃなく
闇に向かって走り出す為の
スタートライン



進路通信

スタートライン

～名前の由来について～

この「スタートライン」というタイトルは、海援隊というグループの曲名です。海援隊は3人組のフォークグループで、ボーカルは俳優としても有名な武田鉄矢さん。「赤いきつね」と「緑のたぬき」のCMでもおなじみの方です。私はこの武田鉄矢さんが大好きで、彼の俳優としての代表作でもある「3年B組金八先生」シリーズは全て観ました。その「金八先生」の第4シリーズの主題歌が「スタートライン」です。

爽やかで明るめなメロディーから始まるのですが、歌詞を見ると「一人ぼっちになる為のスタートライン」だったり、「闇に向かって走り出す為の～」だったり、少し暗いイメージを与えるような歌詞が出てきます。

私はその歌詞を聞いて、「受験」に立ち向かう中学3年生の姿を思い浮かべました。青春の真ただ中にいる中学生にとって、「恋や夢を語る事」は大切かもしれませんが、あえて「そうじゃないんだ。これから一人で様々なことに挑戦していくことの方がもっと大切なんだ」と投げかけているように思います。強いメッセージ性を持った曲だと思います。金山先生がおっしゃっていた「自立」にも重なりました。ここからが進路に向けての皆さんの「スタートライン」であり、そして中学卒業後の新たな「スタートライン」に立つために努力を重ねてほしいという思いを込め、この名前にさせていただきました。